

Nyonyum 1号

By JICA-VOLUNTEER DAISAKU TAKAGI

2022年度の授業終了！たくさんの“笑顔”が溢れていました！

2022年度の授業が終わりました。

カンボジアの『体育学習指導要領』（日本のNPOの協力を得て中学2016年、高校2019年策定）を参考に、**生徒の意欲や笑顔を引き出し、かつ体育の授業を受けたことがない現地の先生方でも「面白そう」「マネできそう」と感じてもらえるような授業づくり**を心掛け、活動を行ってきました。課題もありましたが、授業では、生徒の生き生きとした表情を数多く見ることができました！この1年の授業の様子を、写真で振り返ります。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種目	体力測定	バレーボール	サッカー	休み	バスケットボール	器械運動 マット	ダンス クメール体操	陸上 短距離走 リレー	ポッカタオ	ベタンク	バレーボール	休み

担当は中学1年生の11クラス。水色が実際に担当した種目。

バスケットボール

当初、1か月程度は現地の先生の授業の様子を見学させて頂くという約束でしたが、赴任して二日目から一人で授業を担当することに…拙いクメール語での授業、生徒に幾度と助けられました。



器械体操 (マット運動)

最も苦戦した種目。初めてマット運動を体験する生徒がほとんど。恐怖心と恥ずかしさから足踏みをする生徒たち。彼らの挑戦を促したのは、しつこいくらいの励ましと「前転」の試験の実施でした。



このような体育の授業の光景は、カンボジアでは、まだまだ少数なのが現状です。新しく策定された『指導要領』や『指導書』に基づいた授業の普及促進、先生方の育成が課題となっています。

これな〜んだ？

①～③の写真は、近隣の学校の授業を見学させて頂いた際に撮影した写真です。限られた用具・施設の中でも、先生方のアイディアで、代替となるモノを作り授業を実施していました。さて、3つの写真は体育の授業のどんな場面で使用しているのでしょうか？



- ① 陸上
- ② 蹴球
- ③ 土を紙で包み輸送に使います

赴任間もないころ、「バスケットボールが4個“しか”ない」「マットは2枚“しか”ない」、「もっと数があれば、効率よくたくさん身体を動かすことができるのに」と、真っ先に頭をよぎっていました。近隣の学校の授業を見学させて頂く機会を得て、上記のように様々な工夫をしながら新しく導入された体育の授業にチャレンジする先生方と出会いました。“ないからできない”のではなく、“ないのが普通”、“どうやったらできるか” “どうやったら楽しめるか” を現地の視点で考える重要性を再確認しました。今となっては懐かしい思い出です。

ダンス(クメール体操)

日本のラジオ体操のようなリズム体操。カンボジアには音楽の授業がないため、リズムをとることが苦手な生徒たち。教え学び合うグループ学習を取り入れ、動きの習得を目指しました。



陸上(短距離・リレー)

クラウチングスタートの練習後、50mの記録測定を2回実施。記録を伸ばしたい一心で必死に走る生徒たち。リレーでは、バトンの受け渡しを練習し、その後はチーム戦。大盛り上がりでした！！



ポッカタオ *第6号で紹介

カンボジアの伝統的格闘技。「日本人がカンボジアの伝統種目を教える？」と少し違和感を覚えました。が、先生方も指導経験がないとのこと。YouTubeを参考に指導方法を考え、授業づくりを行いました。



ベタンク *第6号で紹介

最近日本でも知名度が上がってきたポッチャのような競技であり、誰でも気軽に取り組みます。相手のボールをはじき、自分のボールを目標物に近づけるショットが飛び出ると、大いに盛り上がりました！



懐かしいあんな場面、こんな場面



赴任二日目にして一人で授業を担当することに(聞いてない💦)。たどたどしいクメール語にも、生徒に助けられ、なんとか授業を終了。安堵感いっぱい一枚です！

クメール体操の試験に向けて、誰一人取り残すことなく教え合う姿、また「もっと練習したい」と必死に粘ろうとする姿も見られ、試験も好結果！！頑張りを皆で称え合い“笑顔”で撮影！！

授業前の名前と顔を確認しながらの出席確認のシーン。授業開始の挨拶後に、学級代表が出席確認を行うのが通例でしたが、生徒の名前を覚えるためにこの形式に変更。生徒とのコミュニケーションをとる楽しい時間でもありました！